

センター通信

教育支援センター「やまびこ」の役割



伊丹市立教育支援センター「やまびこ」

指導員 佐藤 眞貴子

「今まで、私の居場所をずっと探していました。私の居場所はこの『やまびこ』にありました」。今年の卒業生の言葉です。

不登校児童生徒数は全国では35万人強で、増加傾向にあります。理由も人それぞれです。「自分とは何か」。存在意義を見つけ出せない子どもたちもいます。そんな、学校には行けないが違うところで人とつながりたい、勉強をしたい、自分の居場所を見つきたいなどの児童生徒の思いを大切に、不登校児童生徒の学力の向上や学ぶ意欲を高めることを通して、学校復帰を含めた社会的自立に向けた支援を行うところが、教育支援センター「やまびこ」です。

教育支援センター「やまびこ」の概要は以下の通りです。

1 対象

伊丹市内在住の小学校1年生から中学校3年生

ただし、小学生は保護者の送迎が必要

2 開所日および開所時間

月曜日から金曜日（祝日、長期休業を除く）までの9：30～15：00

ただし、水曜日は9：30～12：00

3 活動内容

- ・教科指導、自主学習
- ・小集団による体験活動（調理実習・ものづくり・スポーツ等）
- ・指導員による個別相談等

現在(令和8年6月末)、小中学生合わせて34名が在籍しています。小学生は毎日の決められた時間に自主学習をし、休憩時間はみんなでやりたいことを決めて楽しく遊んでいます。新しい友だちが来れば声を掛けて、友だちとのかかわり方を学んでいます。中学生は各自で課題を用意し、自主学習を進めています。はじめは勉強がわからないことを知られたくない人もいますが、慣れてくると巡回する指導員の声掛けに応じたり、自分から質問したりするなど学習を進めています。個人で学習をすることが多いのですが、週1回のスポーツや行事などで友だちと話をする機会があり、徐々に話すことにも慣れてきます。そして、少しずつ自分にできることが増え、自己肯定感が高まってきます。また、「やまびこ」の良いところは行事に小中学生が一緒に取り組むことができることです。仲間の輪がひろがり、縦割りの関係が育ってきます。さらに、中学1・2年生は進路に向けて取り組む3年生の姿を身近に見ることができます。いずれは自分たちにもやってくる現実を実感し、役立ててくれることを願っています。

これからも、保護者や学校との連携を密にしながら、不登校児童生徒が主体的に学校復帰を含めた社会的自立に向かうよう見守りつつ、その子に応じた環境づくりや適切な支援、働きかけを行っていきたいと思います。

令和8年度 伊丹市青少年を守る店連絡協議会 定期総会・量販店部会研修会

7月3日(金)、スワンホールにて伊丹市青少年を守る店連絡協議会 定期総会・量販店部会研修会が開催されました。

定期総会では、全ての議案が滞りなく可決されました。総会終了後の量販店部会研修会では、まず、伊丹市立荻野小学校 生徒指導担当 雑賀 隆徳 主幹教諭より「不登校の未然防止に向けた取り組みと組織的な対応について」をテーマに実践報告がありました。学校全体で児童一人ひとりの居場所づくりに取り組んでいることを学び、地域の大人としても、子どもたちが前向きに学校へ向かうきっかけとなるような声かけを心がけていきたいと感じました。

続いて、NPO 法人 日本シニアデジタルサポート協会 代表理事 玉井 知世子 様より、「デジタル時代の子どもたちを守るために～大人が知っておきたい“今”～」を演題にご講演いただきました。講演を通して、子どもを取り巻くデジタル社会の現実への理解を深めるとともに、「地域の大人の何気ない声かけが子どもを救うことがある」という言葉が印象に残りました。今後も子どもたちへの温かな声かけを大切にしながら、継続的に見守り、関わっていききたいと思います。

宝塚市・伊丹市少年補導委員合同補導活動 — イオン伊丹 —

7月24日(金)、宝塚市少年補導委員、伊丹市少年補導委員(南・稲野・有岡ブロック)、宝塚市青少年センター職員および当センター職員による合同補導活動を実施しました。当日は総勢27名が2班に分かれて巡回しました。1班はアリオ広場を確認した後、店舗内を巡回し、もう1班はイオン伊丹の渉外担当者の案内のもと、店舗内の喫煙所などを中心に、青少年が立ち寄る可能性のある場所を重点的にパトロールしました。店舗内は家族連れを中心に多くの来店者でにぎわっていましたが、巡回の結果、青少年に関する特段の問題行動や危険な状況は見られませんでした。

今後も関係機関と連携を図りながら、青少年の健全育成と安全・安心な地域環境づくりに努めてまいります。

令和8年度 第1回 伊丹市立少年愛護センター 運営協議会

7月22日(水)、令和8年度第1回伊丹市立少年愛護センター運営協議会を開催しました。協議会では、令和7年度事業報告についての質疑応答や意見交換を行った後、令和8年度事業計画について協議し、全ての議案が承認されました。

意見交換では、補導活動に関して「『その他』の補導件数が多いが、具体的にはどのような内容なのか」といった質問が出されました。また、相談活動については、「今後はAIが相談相手となる機会が増えてくるのではないか」といった意見も出されるなど、活発な議論が行われました。

7月補導活動 － 暫定値 －	幼児 小学生	中学生	高校生 その他	大人
あいさつ	2 6 1 3	2 3 1	1 3 3	4 3 3
声かけ/会話等 (内)	2 1 8	1 0 0	8 8	1 5 3
問題 行動	7	1	2	2
その他	0	0	4	7
その他	2 0	1 5	0	3



相 談 件 数	
電話相談	0 件
来所相談	5 件
メール 相談	0 件

ひょうご防犯ネット情報 (7/1～7/31 掲載分)

日	時刻	場 所	事 案	概 要
8	17:00	山田 1	声かけ事案	自転車で行方不明中の女子高校生に対して、徒歩で通行中の男が「これあげる」と声をかけ、自転車の前かごにアダルト DVD を入れた。
9	8:00	緑ヶ丘 5	不審者情報	徒歩で通行中の女子中学生 2 人に対して、男が「テストに出るから」等と言って、メモ紙と飴を手渡した。
10	16:55	平松町	わいせつ事件	徒歩で通行中の女子小学生に対して、男が後方から近づいて体を触るなどした。
14	16:25	昆陽 2	声かけ事案	徒歩で通行中の女子に対して、男が「かわいいね」と声をかけ、さらに近づこうとした。
23	13:25	西野 3	暴行事件	自転車で行方不明中の女子小学生に対して、男が声をかけ、右太ももを叩いた。
23	18:40	御願塚 6	露出事件	自転車で行方不明中の成人女性が、下半身を露出した男を目撃した。
27	9:30	行基 1	露出事件	徒歩で通行中の女子高生が、下半身を露出した男を目撃した。
27	12:42	緑ヶ丘 6	不審者情報	徒歩で通行中の女子中学生に対して、男がナップザックに取り付けているキーホルダーを外すよう声をかけ、女子中学生が取り外したところ、男は飴を手渡し立ち去った。
29	18:27	梅ノ木 2	露出事件	☆ 露出事件が発生したが、通報を受けて駆け付けた警察官が犯人を検挙した。

< 8月の予定 >

7(金)	伊丹市少年補導委員連合会 役員会
7(金)	伊丹市少年補導委員連合会 定例理事会
10(月)	広報啓発活動(神津・摂陽)

21(金)

(随時)

伊丹市・宝塚市少年補導委員合同補導
イオン伊丹昆陽(昆陽里・桜台・天神川)
街頭補導活動 (各小学校区)
中学校区内補導活動 (各中学校区)
電話・来所・メール相談(愛護センター)

「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(Tel072-780-3540)までお寄せください。